

第2回、第3回

やさしい読書会

『魂のアイデンティティ 心をめぐるある運歴』 著者：西平 直（京都大学教授）

第5回 平成21年12月5日（土）13時～16時30分

場所： 仙台市民活動サポートセンター 研修室

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3 ☎ 022-212-3010

参加費： 1,500円（当日お支払い） 【次回】平成22年2月21日（日）

【第1～4回 参加者の感想より】

- ・「本当の自分」についてまともに考えたことはなかったが、今回目を逸らすことなく頭を全開にして考え、聴き読んだ。勿論、答えは出ないのだが、次回の会を楽しみにそれまでに通読しておきます。一文ずつ読みまわしてゆく形式の読書会は初めてだった。予想以上に入ってくるものだった。
- ・今まで私はアイデンティティを「私は～の人間だ。」という見方だけをしていました。今回の読書会で、ユングの個性化、E.エリクソン、他の方々のアイデンティティについての考え方があることを知りました。読書会で自分の思いを伝える時、「誰に向かって伝えるか」「誰の話によって自分が心が動き話したくなるのか」などなど、ファシリテーターに確認していただくおかげで、人との関係の大切さや話の仕方についてかなり学ばせていただいています。
- ・今日は「心のアイデンティティ」の章を読み進み、アイデンティティについて学びこれまで自分が描いていたことが明確化された感じがした。又、ユングの中年の危機で、思春期、青年期から個性化について、参加者の発言を通し、自分を見つめ、今の自分の位置確認も出来たように思いました。次回も楽しみにしています。
- ・私の中にある大切だったはずの「思春期の私」をどうして私はずっと忘れていたんだろう・・・激しいエネルギーをぶつけた訳ではなかったけど私はずっと独りで自分と向き合っていた

んだなあ、この本を読書会で読むことで思い出しました。その頃から続いている「私って・・・」というテーマは今もまだまだ続いています。この本との対話を通し、これからも私を見つけていきたいと思っています。

- ・自分に正直に生きていきたいと願いつつ、でも生きるという事は「社会」の中で生きていくという事で、やっぱり役割や期待を無視しては生きていけない。自分を知り、感じ、それをつかんでいくという事は、無意識に生きていた頃の苦しさからは解放されるけど、この「社会」の中で生きていくためには新たな苦しみを手にする事・・・わかりながらも仮面をつけ生きていく人間へのいとおしさを感じました。そして、アイデンティティを獲得する事は、社会からの承認もあつての事、人間ってやっぱり社会の中に生きているという事を改めて実感しました。
- ・これまでペルソナを否定的に見ていましたが、役割を潤滑油として考えることができ、それによって役割がスムーズにできたりするので肯定的に捉えることができるようになりました。ペルソナも自由に取り外しができることが大切なのですね。また、私は「ありのまま」の捉え方が狭かったなと思います。「ありのまま」とは、その瞬間瞬間に感じた自分の気持ちだとファシリテーターの方がお話して下さったことを聴き、心がとても楽になり、他者の言うことも今までなら「えっ」と思えることでも、これから「そうだね」といえるような気がします。とても腑に落ちる話を聴きました。

《お申込みは日本トランスパーソナル学会東北支部事務局まで》

メールアドレス：nosasaki2002@yahoo.co.jp

FAX・TEL：022-243-0281

郵送：〒982-0817 仙台市太白区羽黒台17番23号

佐々木直雄

お名前・郵便番号・ご住所・電話番号・メールアドレス又はFAX番号・会員一般学生をご記入のうえお申し込み下さい。